

『未来の教育創造』

経済産業省でひとり1台端末とEdtechを活用する「未来の教室」プロジェクトをスタートさせ、その後、文部科学省のGIGAスクール構想を中心となって推進されてきた浅野大介氏をお迎えします。学修成果の可視化や学校現場のDXによる個別最適化された学びとは何かなど、近未来の教育について京都から発信します。

日時：2023年2月25日（土）13:30～16:00（受付開始13:00）

場所：佛教大学 紫野キャンパス 成徳常照館 5階 常照ホール

定員：対面 200名

オンライン 500名

※今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止を含め開催方法の変更を行なう場合がございます。予めご了承下さい。



申込み：事前申込制（先着順）

申込用QRコード

申込期間：2023年1月25日（水）～2月17日（金）

参加費：無料

※定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

【スケジュール】

13:30 主催者挨拶・趣旨説明 佛教大学長 伊藤真宏

〔第1部〕

13:40 基調講演 「未来の教室」を構想する～DX、心理的安全性、組み合わせ自在～
講師 浅野大介氏（経済産業省）

〔第2部〕

14:50 パネルディスカッション 「京都から発信する未来の教育」
パネリスト

浅野大介氏（経済産業省）

京都府教育委員会：橋長正樹先生（京都府立嵯峨野高等学校 学校長）

京都市教育委員会：西田 晋先生（京都市立市原野小学校 学校長）

京都府私立中学高等学校連合会：佐々井宏平先生

（京都先端科学大学附属中学校高等学校 学校長）

ファシリテーター

原 清治 教授（佛教大学副学長・教育学部教授）

【講師プロフィール】

浅野大介氏



経済産業省 産業資金課長（前教育産業室長・スポーツ産業室長） 東京大学公共政策大学院 非常勤講師（教育政策・教育法） 2001年東京大学大学院法学政治学研究科修了後、経産省入省。石油産業、国際物流、産業保安、中小企業などの業務を経て2018年よりサービス政策課長・教育産業室長として1人1台端末とEdtechを活用する「未来の教室」プロジェクトを発足し、その後文部科学省と共にGIGAスクール構想を推進。2020年より「未来のバカツ」プロジェクトを推進し、学校部活動の地域移行に対応した民間スポーツクラブの事業環境整備を推進。2022年より現職にて、スタートアップ企業の資金調達環境、資本市場改革、官民ファンドを担当。

主催：佛教大学

後援：京都府教育委員会（申請中）・京都市教育委員会・京都府私立中学高等学校連合会

【問い合わせ】

佛教大学 広報課

603-8301 京都府京都市北区紫野北花ノ坊町96

TEL 075-491-2141（代）



【ご挨拶】

本学は2022年度に開学110周年を迎え、この節目に教育学部に幼児教育学科を開設いたしました。一方、多年にわたって力を注ぎ、本学の特徴の一つであります教員養成については、社会状況の大きな変化にともなって、時代の要請に応じた変革が必要となっております。そのような大学内外の現状を踏まえ、教員養成だけでなく、わが国の未来の教育のあるべき姿や方向性について考える機会を持ちたいと考え、経済産業省の「未来の教室」プロジェクトや文部科学省のGIGAスクール構想を推進してこられた浅野大介氏を講師としてお迎えすることとなりました。

浅野氏からは、これからの教育の在り方、学校現場の未来、DX化への対応など、未来の教育についてさまざまなご示唆をいただけるものと期待いたしておりますが、あわせて本学が位置する京都の教育界の関係者の皆さまにも参画いただき、ディスカッションを通じて、ここ京都から未来の教育の姿について発信していきたいと考えます。

今回のシンポジウムが、参加される皆さまにとって有意義な機会となると同時に、京都の教育界全体の更なる発展に資する場となることを願っております。

佛教大学長 伊藤真宏



【第2部 登壇者プロフィール】

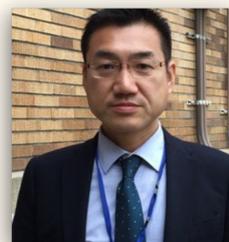
橋長正樹（はしなが まさき）氏

京都府立嵯峨野高等学校 学校長

立命館大学大学院言語教育情報研究科 修士課程修了

京都府立山城高等学校から三重大学人文学部を経て1987年より京都府立高校教諭として、南陽高等学校、山城高等学校、鳥羽高等学校で28年勤務。

2015年度より2年間の京都府教育庁指導部高校教育課勤務ののち、鳥羽高校副校長、嵯峨野高校副校長を経て、2021年度より現職。



西田 晋（にしだ すずむ）氏

京都市立市原野小学校 学校長

京都教育大学発達障害学科卒業

1986年度京都市立学校教員として採用。中学校・小学校に勤務の後、京都市総合教育センター研究課指導主事・指導室指導主事を歴任。1994年以降、複数の小学校教育研究会でICT機器の活用に関する実践研究に携わり、2019年度京都市小学校情報教育研究会会長、2022年度小学校長会臨時委員会GIGAスクール構想推進委員会委員長を務める。「すべての子どもたちに届く教育実践」を求め「学び続ける校長」を信条としている。

佐々井宏平（ささい こうへい）氏

学校法人 永守学園 常務理事 兼 京都先端科学大学附属中学校高等学校 学校長

立命館大学文学部地理学科卒業。

1985年より京都商業高等学校、2004年より京都学園中学高等学校教頭、2007年より京都学園中学高等学校学校長、2017年4月より学校法人京都光楠学園 理事長 兼 京都学園中学高等学校学校長を経て2021年より現職。

2020年より京都府私立中学高等学校連合会 会長 兼 全国私立中学高等学校連合会 理事。



原 清治（はら きよはる）氏

佛教大学 副学長・教育学部教育学科教授

神戸大学大学院博士後期課程修了。博士（学術）。専門は教育社会学、学校臨床教育学、教員養成。関西教育学会会長、日本教育社会学会理事、日本教師教育学会理事、日本教育実践学会副会長等を務める。2020年文部科学大臣表彰。

主要著書：『ネットいじめの現在（いま） 一子どもたちの磁場でなにが起きているのかー』（ミネルヴァ書房）、『新しい教職教育講座』シリーズ（ミネルヴァ書房）、『比較教育社会学へのイマージュ』（学文社）、『ネットいじめはなぜ「痛い」のか』（ミネルヴァ書房）、『学生の学力と高等教育の質保証II』（学文社）、『論集 日本の学力問題〈上・下巻〉』（日本図書センター）など



佛教大学

BUKKYO UNIVERSITY



佛教大学公式
webページ